

## 第2回「BYD オーナーズミーティング 2026」開催レポート 全国から約150台・300名超のBYDオーナーが一同に集結

- 2回目となるBYD オーナーズミーティング 2026も前回同様、満員御礼。参加総数150台、320名と、前回の2倍の規模で開催
- 最新モデルのBYD SEALION 6オーナーの1,200km走行して来場したエピソードに、多くの参加者が、BYD PHEVの低燃費性能と快適性を共有
- 今夏発売予定の軽EV「BYD RACCO」の展示では、多くの観客が、その完成度と充実した装備を高く評価



BYD Auto Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺 厚樹、略称：BAJ）は、4月19日（日）、日本を代表するレーシング・サーキットの一つである富士スピードウェイ（静岡・駿東郡）で開催された「シン・モーターファンフェスタ 2026 in 富士スピードウェイ（主催：モーターファンフェスタ 2026 運営委員会）」内の特設会場で、BYDとしては2回目となるオーナーズミーティングを開催しました。

- 全国から150台が集結、BYDオーナー同士の交流も盛んに。

今回も募集開始からほどなくして定員満員御礼。2回目となるオーナーズミーティングには、全国各地から150台のBYDが一同に集結しました。会場ではオーナー同士の交流や親睦を深めるとともに、BAJスタッフとも活発な意見交換が行われました。

当日は絶好のイベント日和に恵まれ、早朝の開場ゲートには多数の参加者が車列をなして入場待機する盛況ぶりでした。BYDブースでも、遠くは九州・宮崎県、長崎県から1,000kmを超える長旅を経て到着した参加者を筆頭に、全国津々浦々のナンバープレートを付けたBYD車が続々と集結。スタッフの誘導でモデル毎に専用駐車場に入場。残雪が美しい富士山を背景にした最高のコンディションの下、BYDオーナーズミーティングはスタートしました。



## ■ メインパドック 2階でのBYDオーナーズイベント

メインパドック 2階のBYDミーティング会場では、BAJ技術顧問の三上、そして、今夏発売を予定している軽EV「BYD RACCO（ラッコ）」のプロジェクトを統括している田川、それぞれから最新のBYDに関するプレゼンテーションが行われました。

BAJ社長の東福寺のセッションでは、今年も「社長と語ろう」コーナーを用意。会場に集まったオーナーと忌憚ない意見交換を行いました。その他、ジャーナリストによるトークショーなども実施。時折、大きな笑い声が上がるアットホームな雰囲気の中、プログラムが進行していきました。

## ■ メインパドック 1階のBYDブース

イベント来場者数3万5千人超\*1のクルマ好きで混雑したメインパドックのBYDブースでは、Japan Mobility Show 2025（以下：JMS 2025）で初披露して以降、全国キャラバンでも大人気の軽

EV「BYD RACCO」を展示。さらに、人通りの多いブース前では、同じく JMS 2025 で注目を集めた BYD の最高級ブランド「仰望(ヤンワン / Yang Wang) の真っ赤なスーパーカー U9 (ユーナイン)」によるダンスパフォーマンスが披露されました\*<sup>2</sup>。

BYD オーナーもプログラム終了後、「BYD RACCO」の実車見取り\*<sup>3</sup>や、抽選で選ばれた 5 名の BYD オーナーが、実際に「U9」の助手席に乗車してダンスパフォーマンスを体験するなど、終日、存分に最新の BYD に触れる時間を過ごしました。

\*1 4/19 主催者公式発表 (モーターファンフェスタ 2026 運営委員会)

\*2 U9 ダンスパフォーマンスは 5 回実施

\*3 停止状態での車内外の観察



## ■ BYD Auto Japan 代表取締役社長 東福寺厚樹 (とうふくじ あつき) のプレゼンテーション

今年で 2 回目となる BYD オーナーズミーティングで BAJ 社長の東福寺は、2023 年 1 月から始めた BYD ビジネスの振り返りと、累計受注台数が 9,200 台\*<sup>4</sup> に達したことへの謝辞に加え、今後のユーザーメリットとしての OTA (Over The Air) \*<sup>5</sup> の予定を報告。さらに、あらかじめ BYD オーナーから収集した質問に答えるなど、活発な意見交換を行いました。また、「これまでの BYD ビジネスの発展は、オーナー様の協力なくしては、成し得なかったこと」「今後も真摯にお客様の声に耳を傾け、より良い商品の改善と新商品の導入に、全社一丸で取り組んでいく」と述べました。

\*4 2026 年 4 月 18 日時点

\*5 OTA とは、通信機能を有したクルマ (コネクティッドカー) に搭載された車載システムや自動運転関連のソフトウェアなどの更新を、ディーラーに出向くことなく、スマホのアップデートのように、自宅の駐車場などで最新状態に更新できる機能のこと。

## ■ BYD Auto Japan 三上龍哉 (みかみ たつや) シニアアドバイザーのプレゼンテーション

同社の技術顧問を務める三上からは、改めて BYD 本社の企業概要とビジターセンター等に関する説明に加え、お客様の安心・安全を支える BYD 製バッテリーやエレクトロニクス製品、自動運転技術の進捗状況、クルマ作りに対する取り組みなどを紹介。さらに、最新技術の一例として、先日 BYD 本社が発表した 1.5MW (メガワット) の超高速充電 (スーパーチャージング) と、その機能を

搭載したモデルラインアップを紹介。会場では、「U9」のダンスデモンストレーションなどを行いました。

## ■ BYD Auto Japan 田川博英（たがわ ひろひで）プロジェクトリーダーのプレゼンテーション

「自分は（RACCO の）開発責任者ではなく、日本仕様の最終仕上げをした担当者です」と、あらためて自己紹介した田川からは、実際に「RACCO」の開発に携わった本社の担当者を紹介。

「BYD は、“スーパートール × スライドドア × バッテリーEV”という軽自動車を日本で初めて商品化するメーカーであること」、「RACCO は、お客様の日常に寄り添う軽自動車であり、『こんなカタチの軽自動車で、一番いいクルマでありたい』という思いから、全車、左右電動スライドドアに設定変更した」という内幕エピソードを明かし、田川がBYDに関わることになった動機でもある「日本で唯一無二の軽自動車に仕上げたい」という開発への想いを語りました。

## ■ BYD のハイブリッドモデル「SEALION 6」の実力を体験した参加者

今回、もっとも長い距離を自走して参加したオーナーを称える「Long Distance 賞」では、九州・宮崎県と長崎県から参加された2名のオーナーが選ばれました。その差は、わずか数十キロということもあり、BAJ 社長 東福寺の判断で、2名同時受賞となりました。参加したオーナーの所有車は登録から1年が経過したピュアEV「SEALION 7」と最新のプラグインハイブリッドモデル「SEALION 6」でした。

大きく注目を浴びたのが、長崎県から参加した、登録間もない「SEALION 6」のオーナーが証言した「SEALION 6」の低燃費性能です。「（富士スピードウェイに来る）途中で念のため20Lほど給油しました（が、しなくても十分走って来れたと思います。）」と明かし、キャッチコピー通りの「スーパーハイブリッド」ぶりを披露すると、会場から、どよめきの声が沸き上がりました。

## ■ BYD オーナーズミーティング 2026 開催実績



開催日：2026年4月19日（日）8:00～17:00

会場：富士スピードウェイ（モーターファンフェスタ 2026 会場内）

対象：BYD オーナー（全モデル対象）

<当日の参加実績>

- BYD 参加者数 : 320 名 (2025 年：約 100 名)
- BYD 参加台数 : 150 台 (2025 年：80 台)

(内訳)

- DOLPHIN 25 台
- SEAL 32 台
- SEALION 6 6 台
- SEALION 7 55 台
- ATTO3 32 台

<当日のイベントコンテンツ>

- BYD オーナーズミートアップ（専用駐車スペース）
- BYD オーナーラウンジ&プレゼンテーション
- BYD Auto Japan 東福寺社長と語ろう、BYD 社員との交流・意見交換、BYD オーナー表彰
- BYD RACCO / 仰望 Yang Wang U9 特別展示、パフォーマンス
- BYD オーナー限定 サーキットパレードラン&記念撮影（富士スピードウェイ本コース）
- BYD SEALION 6 試乗（モーターファンフェスタ内プログラム）

<参考> イベント実績/主催者公表

シン・モーターファンフェスタ 2026 in 富士スピードウェイ

総動員数：35,828 名（2025 年：25,548 名）

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2026年4月28日（火）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

---

**本件に関するお問い合わせ：**

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>